

第40卷・第5号

昭和28年5月15日第3種郵便物認可

平成4年5月1日(毎月1回1日発行)

牧草園藝

5

1992

牛群管理システムを追求! 雪印種苗・千葉研究農場に新試験牛舎完成。

■今後のフリーストール、パーラー方式の普及に対応して、ストールはミシガンタイプ、パーラーはダンデムタイプとしました。



新牛舎外観、左がパーラー

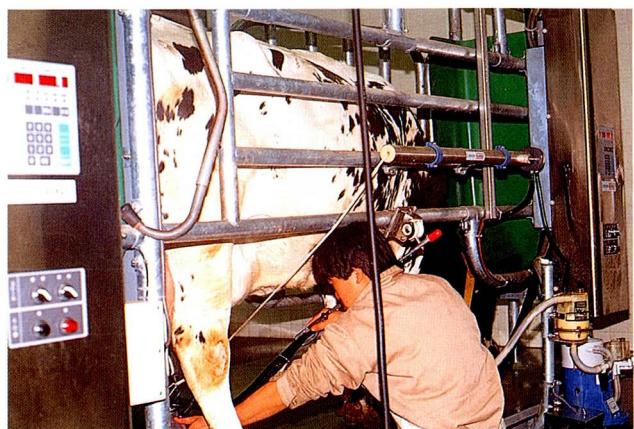
●新試験牛舎の特徴は群飼いの中で、個体ごとの採食量が測れるよう自動給餌装置、ドアフィーダー(個別識別装置)を設置し、当農場が開発した残飼計量機を用い、搾乳牛全頭の採食量が測定できます。

●これらの設備を利用し、高泌乳牛を健康に飼養できる牛群管理システムを酪農家の皆さんに提供していきたいと思います。

お気軽に、ご来場ください。



搾乳牛の採食(個体ごとに飼槽が決まっている)



パーラーでの搾乳